

災害科学世界トップレベル研究拠点(セッション 1 & 2)

日時:2023年3月10日 11:00-14:10

主催:災害科学世界トップレベル研究拠点

会場:仙台国際センター 大ホール(会議棟1階)

セッション1:災害科学世界トップレベル研究拠点 第1部(11:00-12:30)

「レジリエントな社会を実現するための国際・学際連携に向けて」

司会:東北大学 IRIDeS 准教授 リズ・マリ

11:00-11:05 歓迎の挨拶

東北大学 総長 大野 英男

11:05-11:10 歓迎の挨拶

東北大学 理事・副学長 小谷 元子

11:10-11:20 開会の辞

東北大学災害科学研究所 所長 今村 文彦

11:20-11:30 *APRUと東北大学との連携について*

APRU 最高責任者 トマス・シュナイダー

11:30-11:45 *国土強靱化のためのリアルタイム災害科学*

東北大学災害科学研究所 教授・災害実践研究領域長 越村 俊一

11:45-12:00 *様々な自然災害に対する統一的なリスク評価に向けて*

東北大学災害科学研究所 教授・災害理学研究領域長 木戸 元之

12:00-12:15 *地域社会のレジリエンスに向けた人文・社会科学の役割*

東北大学文学研究科 教授・災害人文学研究領域長 木村 敏明

12:15-12:30 *健康を守り被害から快復するための科学*

東北大学災害科学研究所 教授・災害医学研究領域長 江川 新一

12:30-12:40 休憩



セッション 2: 災害科学世界トップレベル研究拠点 第 2 部 (12:40-14:10)

DRR に向けた「世界トップレベルの災害科学研究」

司会: 東北大学災害科学研究所 教授 寺田賢二郎

12:40-13:00 国際共同研究成果報告 1

災害時における外国語コミュニケーションの神経・認知的要求について  
ロンドン大学 (UCL) 教授 アンドレア・レヴェシュ

13:00-13:20 国際共同研究成果報告 2

災害デジタルアーカイブから学ぶ〜 日本災害アーカイブのユーザー体験  
ハーバード大学 教授 アンドリュー・D・ゴードン

13:20-13:40 国際共同研究成果報告 3

機械学習を用いた津波早期警戒システム  
ワシントン大学 名誉教授 ランドール・ルベック

13:40-13:50 APRU マルチハザードプログラムの 10 年

UC Davis, APRU 教授 ジョン・ランドル

13:50-14:00 災害科学の未来への提言 1

慶応義塾大学 教授 ラジブ・ショー

14:00-14:10 災害科学の未来への提言 2

ワシントン大学 名誉教授/東北大学 特任教授 大内 二三夫



World BOSAI Forum  
IDRC 2023 in SENDAI



Designated National University  
Core Research Cluster of Disaster Science

### 災害科学世界トップレベル研究拠点(セッション3)

日時:2023年3月11日 9:40-11:10

主催:災害科学世界トップレベル研究拠点

会場:仙台国際センター 橘(会議棟2階)

#### セッション3:災害科学世界トップレベル研究拠点 第3部(9:40-11:10)

大学の世界展開力強化事業との共同主催

(レジリエントな社会を創造する日英米大学の国際連携)

「D.E.Iの実践:レジリエントな社会を目指して」<sup>1</sup>

司会: UCL IRDR<sup>2</sup> 災害とジェンダー研究センター副センター長 プナム・ヤダブ  
東北大学災害科学国際研究所 特別研究員 北村 美和子

09:40-09:45 開会の辞

東北大学 理事・副学長 植木 俊哉

09:45-09:55 登壇者のご紹介

09:55-10:05 学問の境界を越える - ジェンダーと交差性に関する GRRIPP の役割

UCL IRDR 教授 ピーター・サモンズ

10:05-10:15 ジェンダーと災害に関する今後の研究課題

UCL IRDR ジェンダーと災害センターセンター長

教授 モウリーン・フォーダム

10:15-10:25 LGBTQの方々の災害時の課題:インクルージョンの定義

UCL IRDR ジェンダーと災害センター副センター長 プナム・ヤダブ

防災科学研究所 研究員 松川 杏寧

10:25-10:45 災害レジリエンスと東日本大震災のフィールド調査の報告

UCL、SOAS<sup>3</sup>、ケンブリッジ大学とワシントン大学の大学院生による

災害復興とレジリエンス社会への提言

10:45-11:05 災害レジリエンスとD.E.Iの実現:インクルージョン防災について

登壇者全員によるディスカッション

11:05-11:10 閉会の辞

東北大学 副学長 山口 昌弘

<sup>1</sup> D.E.I: Diversity Equality Inclusion

<sup>2</sup> UCL IRDR: University College London, Institute for Risk and Disaster Reduction (University of London)

<sup>3</sup> SOAS: School of Oriental and African Studies (University of London)



World BOSAI Forum  
IDRC 2023 in SENDAI



TOHOKU  
UNIVERSITY



TOHOKU FORUM  
for CREATIVITY



Designated National University  
Core Research Cluster of Disaster Science

レジリエンス共創センター(セッション 4)

日 時: 2023 年 3 月 11 日 11:20-12:50

主 催: 東北大学災害科学国際研究所 (IRIDeS) 災害レジリエンス共創センター

共 催: 国立研究開発法人 防災科学技術研究所 (NIED)

会 場: 仙台国際センター 大ホール(会議棟 1 階)

### 「防災総合知の探求」

#### 開催概要

令和 3 年 4 月に施行された科学技術・イノベーション基本法において、科学技術があらゆる分野の知見を総合的に活用して社会課題に対応していくという方針が示されました。これは、我が国の科学技術・イノベーション政策が、人文・社会科学と自然科学を含むあらゆる「知」の融合による「総合知」の活用により、人間や社会の総合的理解と課題解決に資することの必要性とその方向性を指したものです。本セッションでは、「災害科学における総合知とは」、「総合知の活用により災害レジリエンスの向上をどう実現するか」をメインテーマとして、基調講演、防災科学技術研究所との共同研究の活動報告等を通じて、防災総合知の探求と活用に向けた新たな展望を拓きます。

司会: 東北大学災害科学国際研究所・准教授 中鉢 奈津子

- 11:20-11:25 開会挨拶  
東北大学災害科学国際研究所 教授 江川 新一
- 11:25-11:45 基調講演 1: *総合知とはなにか*  
ロンドン大学(UCL) 教授 デビッド・アレキサンダー
- 11:45-12:05 基調講演 2: *レジリエンスとサステナビリティ向上を目指した「知の統合」*  
防災科学技術研究所 理事長 林 春男
- 12:05-12:15 活動報告 1: *総合知について*  
内閣府総合知チーム
- 12:15-12:30 活動報告 2: *組織間情報共有と災害動態統合解析による災害時緊急活動支援の取り組み-SIP4D から SIP4D-DDS へ*  
防災科学技術研究所 総括主任研究員 白田 裕一郎
- 12:30-12:45 活動報告 3: *レジリエンス向上のための災害デジタルツイン Disaster Digital Twin for National Resilience (DDT4NR)*  
東北大学災害科学国際研究所 教授 越村 俊一
- 12:45-12:50 閉会の辞  
東北大学災害科学国際研究所 教授 奥村 誠